



デフリンピック

Deaflympics

ろう者の
オリンピック

オリンピックは平和を守り
パラリンピックは勇気を生み
デフリンピックは夢を育む



デフリンピック
に参加・応援・
支援しよう!!



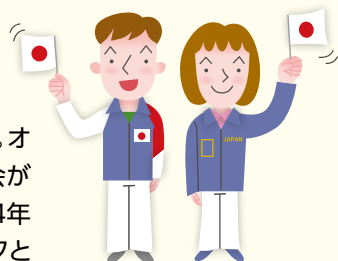
一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会

デフリンピック

デフリンピック (Deaflympics) とは?

耳の聞こえない選手のための国際的な
スポーツ大会です。

「Deaf」は英語で耳が聞こえない人という意味です。オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されます。第1回夏季大会は1924年にフランスで開かれました。競技ルールはオリンピックと同じルールですが、聞こえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。



「世界一の高みをめざして夢咲かせよう」

第23回夏季デフリンピック サムスン2017

(2017年7月18日から30日 トルコ・サムスン市で開催)

ってなに？

視覚的保障って何？

音や審判の合図が聞こえないという、
競技上、選手にとって不利な状況を、
視覚的に補うことです。

聞こえない選手はスターターの音や審判の笛が聞こえないために、プレーする上で、大きなハンデとなってしまいます。そのためフラッシュランプや旗などで競技上に必要な音声や審判の合図を知らせるなど、視覚的に情報が保障された競技環境が必要になります。

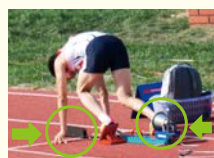


サッカー競技では主審もフラッグを

デフリンピックでは、陸上競技や水泳競技のスターターの音は、フラッシュランプを使って選手にスタートを知らせています。

サッカーやラグビーでは、審判が笛を吹くとともに旗または片手をあげることで反則などが起きたことを選手に知らせます。また、バスケットボールやハンドボール等、さまざまな競技でフラッシュランプ等を活用しています。

このような、さまざまな視覚的な工夫をした競技環境がデフリンピックでは整えられているのです。



陸上競技のスタートランプと音響装置



空手競技ではランプを設置



水泳競技のスタートランプ

聞こえないことは スポーツをする上で ハンデなの？

耳が聞こえないことは、
“目に見えない障害”といわれています。

聴覚障害があることで、バランス感覚の異常、
得られる情報量の少なさなどから、練習や競技
上で聞こえる人と比べて不利な面があることが研究で報告されています。例えば、団
体スポーツではチームメイト同士の声かけ等で判断し、次への動きをとる場面が多い
ですが、それが聞こえないと難しく、常にチームメイトとのアイコンタクトが必要で
す。さらに、個人スポーツでは、競技中の風の音や打球音、競技用具の音なども判断
材料となることがありますが、それが聴覚障害者にとっては1つのハンデです。

このように、競技上における「目に見えないハンデ」に対する視覚的な情報保障や
手話によるコミュニケーションが必要だからこそ、聞こえない選手同士で競技をする
ことに意義があるのです。



どのような人が出場できるの？

裸耳状態での聴力損失が55デシベル以上で、定められた出
場条件を満たした選手が出場資格を有します。

補聴器または人工内耳を外した状態で、聞こえが良い方の耳の平均が55デシベル
以上の聴覚障害者で、各国のろう者スポーツ協会（日本は全日本ろうあ連盟）の登録
者のうち、国内のデフスポーツ競技団体ごとに行われる
選考競技会にて、出場条件（記録、順位など）を満たした
選手に出場資格が与えられます。



また、競技会場に入ったら選手たちは試合や練習の
際、補聴器等を身につけることは禁止されています。これ
は、選手同士が耳の聞こえない立場でプレーするという
公平性の観点によるものです。

【参考】音の大きさはデシベル (dB) という単位により表し、数字が大きくなるほど音が大きいことを意味します。聴力レベルの目安としては、
60dBは普通の話し声、70dBは掃除機の音、100dB以上で車のクラクションやジェット機の音が聞き取れないと言われています。

どのような競技があるの？

夏季大会と冬季大会で以下のものがあります。

■夏季大会:(サムスン2017デフリンピックの競技)

陸上・バドミントン・バスケットボール・ビーチバレーボール・ボウリング・自転車・
サッカー・ゴルフ・ハンドボール・柔道・空手・マウンテンバイク・オリエンテーリング・
射撃・水泳・卓球・テコンドー・テニス・バレーボール・レスリング(フリースタイル、
グレコローマン)

■冬季大会:(ハンティ・マンシースク2015デフリンピックの競技)

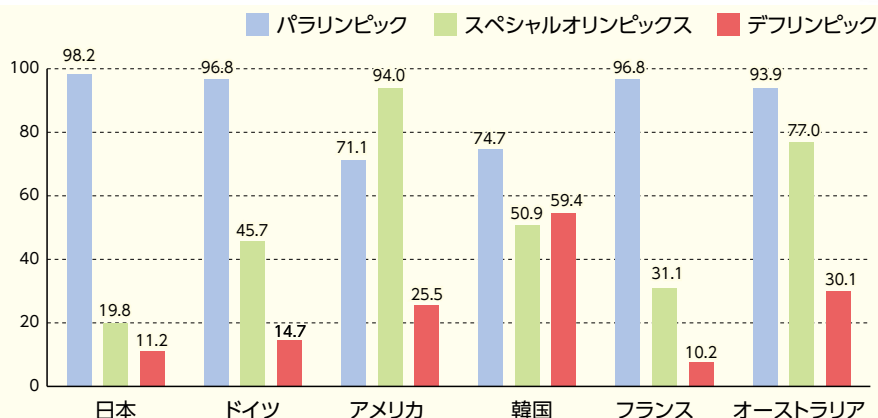
アルペンスキー・クロスカントリースキー・スノーボード・
カーリング・アイスホッケー

※青文字は国内にデフスポーツ競技団体があります(2018年1月現在)



デフリンピックは どのくらい知られている？

デフリンピック コラム



2014年に日本財団パラリンピック研究会が行った調査結果では、国内でのデフリンピックの認知度は11.2%です。2006年に内閣府が調査したときは2.8%だったので、それと比べるとやや認知度は上がりました。

しかし、パラリンピックの認知度98.2%と比べるとまだまだ低いのが現状です。

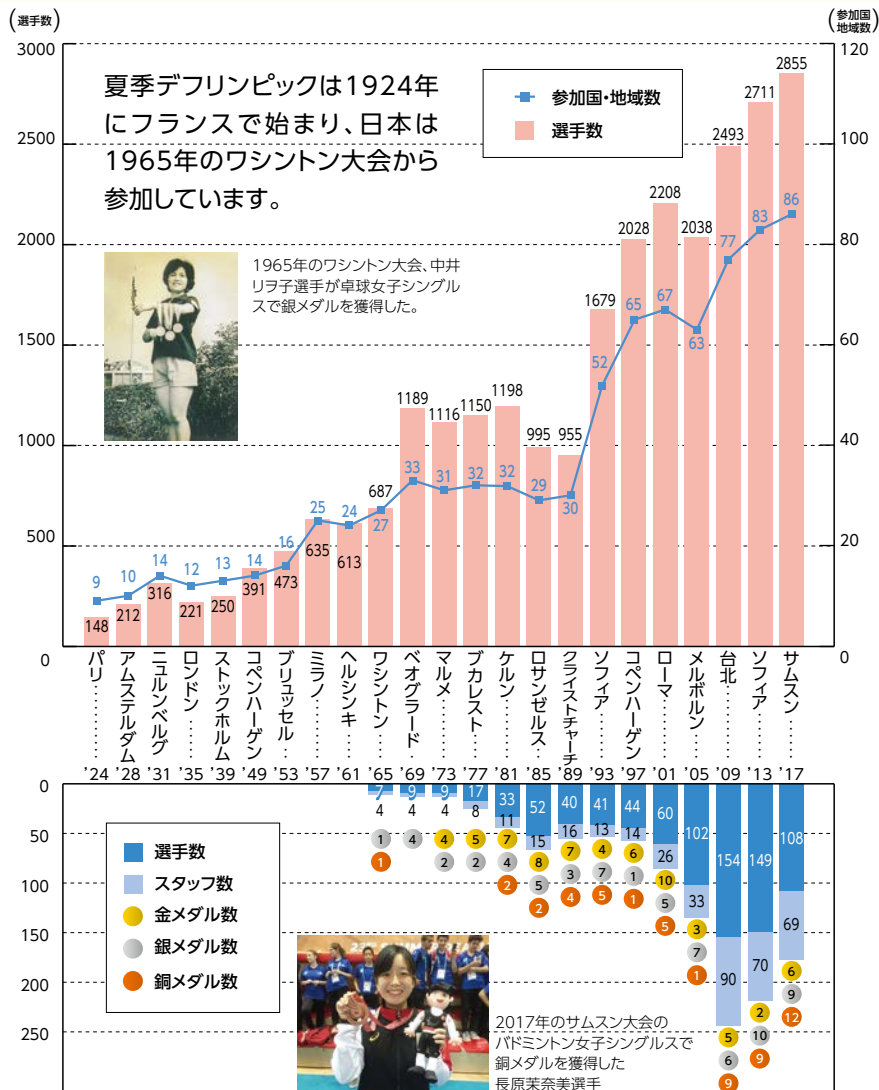
なお、パラリンピックには聴覚障害者の競技種目がないため、出場できません。

【参考】・日本財団パラリンピック研究会調査:国内外一般社会でのパラリンピックに関する認知と関心 調査結果報告(2014):
http://para.tokyo/doc/survey201411_2.pdf

・内閣府(2006):平成18年度障害者の社会参加促進等に関する国際比較調査

デフリンピック

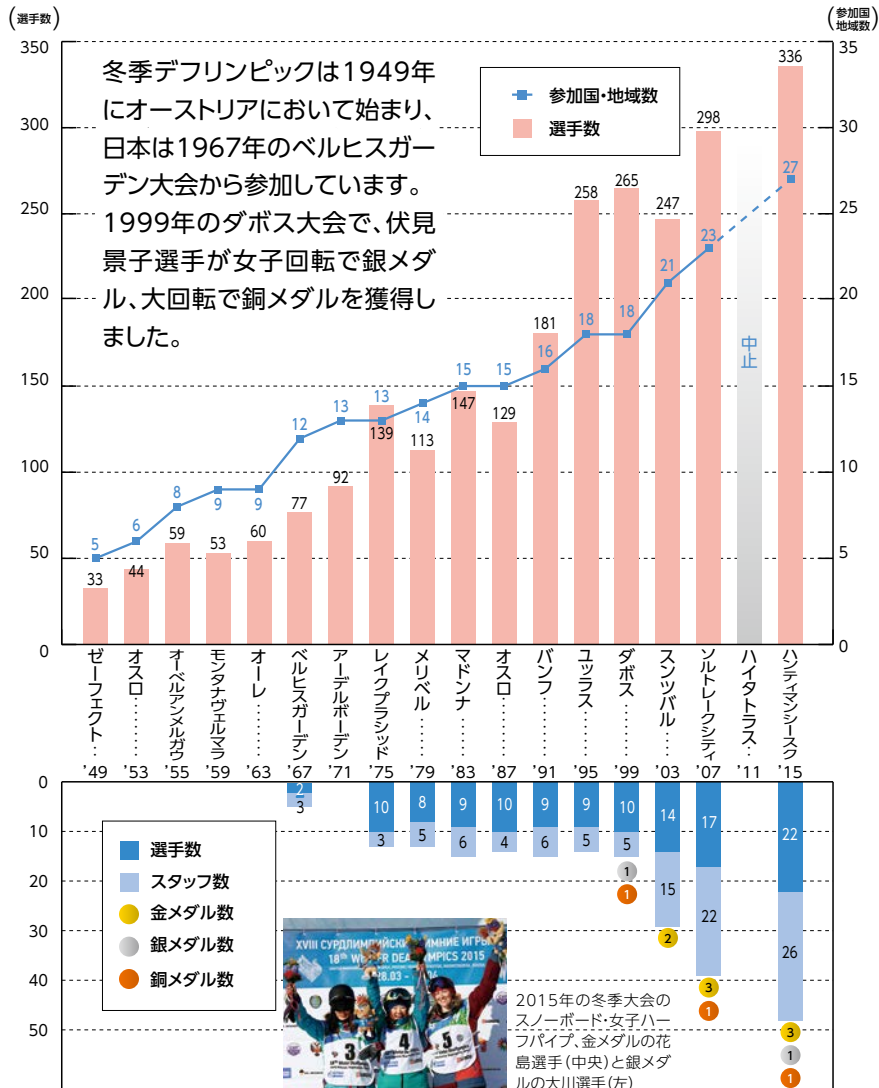
■夏季デフリンピック



の歴史



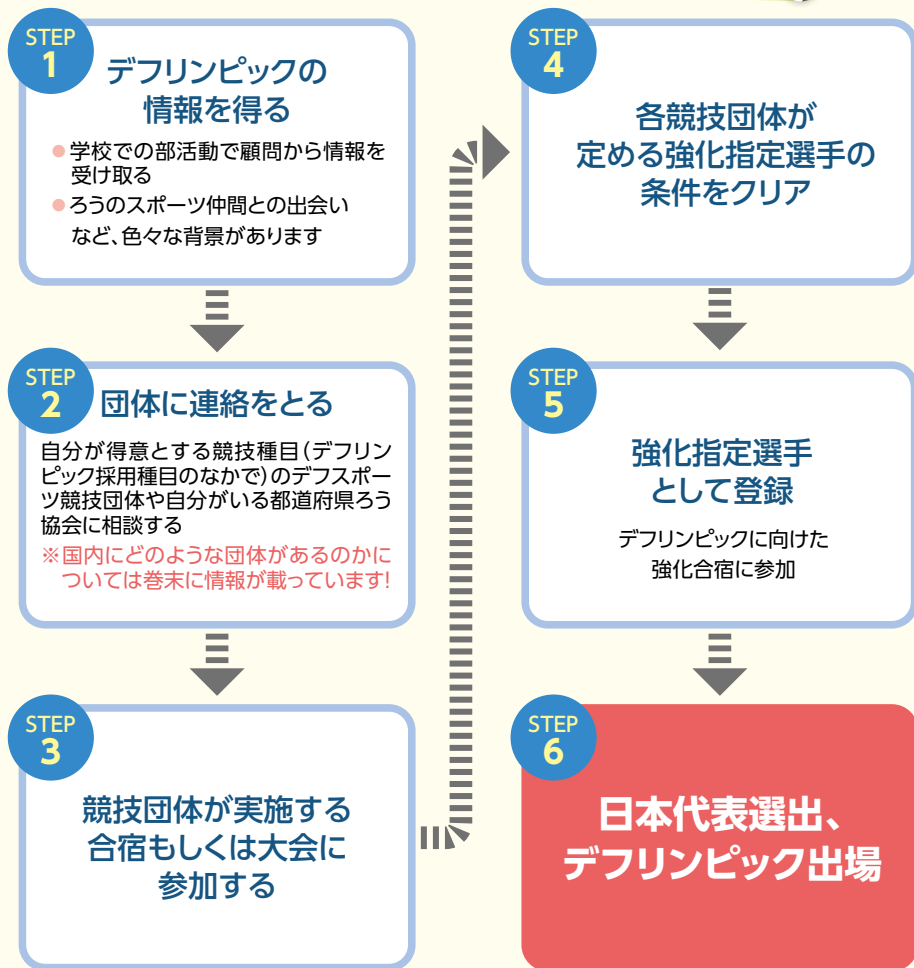
■冬季デフリンピック



デフリンピック

デフリンピックに どうやって出場できるの？

以下のような流れで、選手として出場できます。



に参加するには？

どうやって応援できるの？

現地やHPのライブ放送で応援できます。

①デフリンピック応援ツアーに参加して現地で応援！

旅行会社が企画する応援ツアーに参加して、現地で応援してみませんか。

②現地まで行けない…そんなときは！

- 大会公式HP（英語）／大会全体の情報はコチラをチェック！サムスン大会ではライブ放送が行われました。
- 日本選手団特設サイト／日本選手の試合スケジュールや結果を載せています。
- デフスポーツ団体HP／各競技団体のHPではその競技の詳しい報告がご覧になります。

上記へはこちらのリンク集ページへアクセス！

<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>

デフリンピック
リンク集ページQRコード



どのような支援があるの？

まずはデフリンピック知名度UPにご協力ください！

デフリンピックはパラリンピックより認知度のはるかに低く、スポンサーが少ないため、経済的負担が大きかったり、遠征などで職場での休暇が取りにくいなどといった課題があります。

①デフリンピックグッズを買おう・使おう！

グッズ売り上げによる収益は、日本代表団派遣のために使われます。

②デフリンピックをフェイスブックや ツイッター等のSNSで発信しよう！

グッズの写真や選手のこと、また「デフリンピックって知ってる？」など発信して、デフリンピックを広めてください。

③寄付をしよう！

個人、法人を問わず広く皆様からのご支援をお願いしています。

<https://www.jfd.or.jp/sc/samsun2017/support>



サムスン大会の
グッズ

デフリンピック

デフリンピアンに聞いてみました!!

デフリンピックに出場すると、何がどう変わるのでしょうか。

出場後の意識の変化を中心に聞いてみました。

- 出場したデフリンピック／競技
- ① デフリンピックはどんなところ?
- ② デフリンピックに出場して自分の中で、変わったところは?

藤原 慧

Satoi FUJIHARA

● 2017サムスン大会出場／水泳競技

- ① それまでは聞こえる人の大会にしか参加したことのなかった私にとっては、聞こえない私自身をオープンにし、私の存在を最大限にアピールできる場所でした。
- ② それまでは周りの目を気にしていたため、手話はできるだけ使いたくなくと思っていました。しかし、デフリンピックをきっかけに手話は聴覚障害者にとって大切な言語だと気づき、今、手話を勉強中です。



簗原 由加利

Yukari MINOHARA

● 2009台北大会／バスケットボール競技
2013ソフィア大会、2017サムスン大会／自転車競技

- ① テレビで見たオリンピックとパラリンピックの光景と全く同じです!世界から集まるデフ強豪アスリート達が最高のパフォーマンスを出し、自分の結果も残せる私にとってとても貴重な場です。
- ② これで3度目の出場ですが、今大会でようやく自転車競技でメダルを獲得することができました。自己意識を高めることができるようになったのは、チームの仲間とライバルである海外の強豪選手のおかげです!



田井 小百合

Sayuri TAI

● 2013ソフィア大会、2017サムスン大会／
陸上競技(100mハードル)

- ① 自分らしくいられる最高の場所。デフリンピック独自の競技環境、そして手話やジェスチャーで他国の人々と友好を深められる、独特かつとても魅力的な競技大会だと思います。
- ② 自分の障害に対してより前向きになりました。すばらしい経験をもっと味わいたいと思ったし、何らかの形で今後活躍が期待される若い選手の力になりたいと感じています。



に参加した人たち

日本選手団本部のお仕事

選手たちがデフリンピックという大舞台で輝けるよう、選手団本部は連日、手厚いサポートで彼らを支えています。

サムスンデフリンピックでは、20名のスタッフがそれぞれの専門的な知識や技術を活かして選手たちを裏からサポートしました。



団長・総監督

選手団はさまざまな競技団体から選ばれた選手やスタッフです。この200人近くの選手やスタッフが最大のパフォーマンスができるよう、また日本の代表として誇りを持ち、心が一つになるようまとめていきます。

総務

選手たちが選手村へ入村する前から何度も現地視察を行い、準備を整えます。大会が始まってからは、競技結果や選手たちの活躍を日本に向けて発信します。また、選手たちが快適な競技生活を送れるよう、サポートを行います。

医師・トレーナー

朝早くから遅くまで選手たちのメディカル面をチェックし、選手たちの体調管理を行います。選手にケガがあれば、競技会場に駆けつけたり、ドーピング検査を受けるときは付き添うなど、24時間気苦労が絶えません。

手話通訳・ 現地語通訳

医師やトレーナーと選手のコミュニケーションを手話通訳で支援します。また、現地のボランティアや関係機関との話し合いや資料を確認する際、日本語に通訳する人も必要です。

輸送サポート

選手団の出国、選手村入りから、毎日の競技会場移動、選手村へ運び込む競技用品や物品などの管理や輸送を支えます。

第23回 夏季デフリンピック競技大会

第23回夏季デフリンピックは、トルコのサムスン市で2017年に開催されました。日本からは177名(選手108名、スタッフ69名)の選手団を派遣しました。日本選手団の大活躍により、過去最高のメダル獲得数27個(金6、銀9、銅12)となりました。

デフリン 活躍した

水泳 Swimming

藤原 慧 (ふじはら さとい)

Satoi FUJIHARA

サムスンでの成績

金 3 銀 4 銅 2

- 金 男子400m自由形
- 金 男子1500m自由形
- 世界新記録
- 金 男子400m個人メドレー
- 銀 男子200mバタフライ
- 銀 男子200m自由形
- 銀 男子4×200m自由形リレー
- 銀 男子4×100mメドレー
- 銅 男子200m個人メドレー
- 銅 男子4×100m自由形リレー



陸上 Athletics



山田 真樹 (やまだ まき)

Maki YAMADA

サムスンでの成績

金 2 銀 1

- 金 男子200m
- 金 男子4×100mリレー
- 銀 男子400m

バレー Volleyball



宇賀耶 早紀 (うがや さき)

Saki UGAYA

サムスンでの成績 金 女子バレー金メダル

2度目の出場。今大会キャプテンを努め、全試合ストレート勝ち、4大会ぶり2度目の金メダルへ導きました。

ピックで 選手たち

第18回 冬季デフリンピック競技大会

第18回冬季デフリンピックは、ロシアのハンティ・マンシースク及びマグニトゴルスクで2015年に開催されました。日本からは48名（選手22名、スタッフ26名）の選手団を派遣しました。そして、冬季デフリンピックとして過去最高のメダル獲得数5個（金3、銀1、銅1）となりました。

スノーボード・パラレル



原田 上 (はらだ のぼる)

Noboru HARADA

ハンティ・マンシースクでの成績 **金 2**

金 パラレル大回転種目 **金** パラレル回転

スノーボード・男子ハーフパイプ



津久井 康友 (つくい やすとも)

Yasutomo TSUKUI

ハンティ・マンシースクでの成績 **銅 1**

銅 男子ハーフパイプ

スノーボード・女子ハーフパイプ



大川 摩耶子
(おおかわ まやこ)

Mayako OHKAWA

ハンティ・マンシースクでの成績

銀 1
銀 女子ハーフパイプ

花島 良子
(はなしま りょうこ)

Ryoko HANASHIMA

ハンティ・マンシースクでの成績

金 1
金 女子ハーフパイプ

手話で表してみよう!

デフリンピック コラム

この冊子に出てくる代表的な言葉を、手話で紹介します。

デフリンピックA

国際手話で使われている
〈デフ〉と〈オリンピック〉を
組み合わせた表現です。

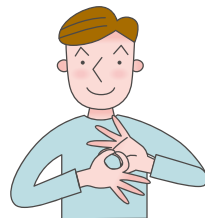
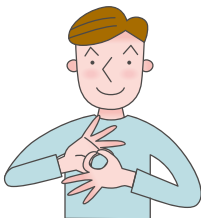
人差し指を立てた右手を耳、
口の順にあて、2指の輪を交
互に結び合いながら横に動
かす



デフリンピックB

デフリンピックを主催する
国際ろう者スポーツ委員会
(ICSD)で使われている表現
です。

両手2指で輪をつくり、輪を
向かい合わせるようにして
交互に2回つける。



にほん【日本】

弓なりになった日本列島の
形を表しています。

両手の親指と人差し指を
つけ合わせ、左右に開き
ながら閉じる。



せんしゅ【選手】

腕を軽くはたいて腕前を見
せるさまを表しています。

左こぶしの甲に親指を立
てた右手を軽くかすめる
ように当て、上にあげる。



スポーツ

運動競技全般の総称です
が、走るさまで〈スポーツ〉
を表します。

指先を前に向けて向い合
せた両手を交互に前に出
すように回す。



おうえん【応援】

旗を振って応援するさまを
表わしています。

両こぶしを握り、旗のつ
いた棒を左右に振るよう
にする。



国内にあるデフスポーツ団体一覧

一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会
日本ろう者バドミントン協会
特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会
一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会
日本ろう者ボウリング連合
日本ろう自転車競技協会
一般社団法人日本ろう者サッカー協会
特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会
一般社団法人日本ろう武道連盟
日本デフオリエンテーリング協会
一般社団法人日本ろう者スキー協会
※アルペンスキーチーム、アルペンスノーボードチーム、
スノーボードフリースタイルチーム、カーリングチーム
ジャパン・デフ・アーチェリークラブ
日本ろう軟式野球協会
日本ろう硬式野球協会
日本ろう者ソフトボール協会
一般社団法人日本ろう者水泳協会
一般社団法人日本ろう者卓球協会
一般社団法人日本ろう者テニス協会
一般社団法人日本デフバレーボール協会
特定非営利法人全日本聴覚障害スキー指導員会
日本デフサーフィン連盟
特定非営利活動法人日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟

デフスポーツ
団体サイトのURL

<http://www.jfd.or.jp/sc/sportsassoc>

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階

TEL.03-3268-8847 FAX.03-3267-3445

E-mail jfd-sc@jfd.or.jp URL <https://www.jfd.or.jp/sc/>



- 【参考】・門脇翠(2017):聴覚障害のある競技者とスポーツとの関わりーデフスポーツに対する意識変容過程に着目してー,平成28年度筑波大学人間総合科学研究科体育学専攻修士論文
・榎本優子(2014):聴覚障害が陸上競技のパフォーマンスに及ぼす影響について,平成25年度筑波大学体育専門学群卒業論文
・中島幸則・桜庭景植・笠井美里[他]・竹腰英樹・金玉蓮・加我君孝(2010):成人先天性聴覚障害者の平衡機能と視機能の評価,日本臨床スポーツ医学会誌,18(2),297-304
・齊藤まゆみ(2011):聴覚障害者の体力・運動能力と視機能,障害者スポーツ科学,9(1),3-14
・砂田武志(2000):ろう者とスポーツ,現代思想編集部,青土社,152-155



『デフリンピック マーク』

「手話」「ろう文化」「結束と継続」といった
強いメッセージを表現しています。

またロゴマークの中央は「目」を表し、
ろう者が視覚中心の生活を営んでいることを
示しています。